

令和 2 年度 となみ散居村学習講座

## となみ散居村を学ぶ

### 第 1 回

・期 日 令和2年7月4日(土) 13時30分～15時30分(予定)

・テーマ となみ散居村周囲の歴史と今

#### 第 1 部

「 国道 359 号砺波東バイパスについて 」

国土交通省 富山河川国道事務所

事業対策官 折橋 一禎 先生

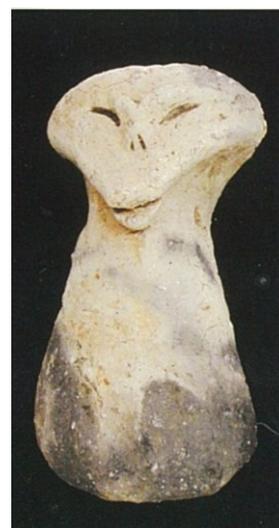


(庄東丘陵側から望むバイパス)

#### 第 2 部

「 河岸段丘にある遺跡群 —徳万頼成遺跡を中心に— 」

富山県埋蔵文化財センター 前所長 安念 幹倫 先生



(発掘調査と出土物)

1. 主催 となみ野田園空間博物館推進協議会・となみ散居村ミュージアム

2. 後援 砺波散村地域研究所

3. 趣旨

砺波平野の散居村の歴史、文化、民俗、伝統などの学びを通じて、地域社会を理解するとともに、全国に誇る散居村の魅力を発信し、将来に向けて望ましい保全と活性化につなげる。

4. 会場 となみ散居村ミュージアム情報館・研修室

5. 今回主旨 「国道 359 号砺波東バイパスの開通により、交通網の拡充成果を周知するとともに、施工前の埋蔵文化財調査結果を学習し、となみ野の散居村の原点を学ぶ。」

6. 進行 開講式 13:30 ~

第 1 部 13:40 ~ 講演 折橋 一禎 先生  
(休憩)

第 2 部 14:20 ~ 講演 安念 幹倫 先生  
15:30 (終了予定)

7. その他 (1)現下のウィルス感染症対策の関係上、受講者数を制限しますので当面、事前に申し込みされた方のみ、研修室で受講できます。  
なお、講演はホームページ上でも後日視聴いただけるようにします。  
(2)今年度の講座は、移動を簡素化するため、講演のみ、見学のみの内容に原則分離して実施します。  
(3)受講料は、毎回の案内にてお知らせします。  
(4)次回以降の講座、見学会の案内は、受講登録者のみに郵送にて、その都度通知します。即日定員になる場合もあります。

8. 次回以降の講座計画

～となみ散居村の歴史と信仰～  
「重要文化財“勝興寺”の寺史と平成の大保存修理事業をみる」  
～となみ散居村の地域財産再発見～  
「砺波平野にみる用水路の展開と今日的課題  
—水路網の発達から転落事故対策まで—」  
～となみ散居村の地域財産再発見～  
「酒造業を取り巻く現状と課題」(仮題) など

